

交通事故に遭わない・

起こさないために

・西区の交通事故の現状

昨年一年間、西区内での交通事故死者数は二人で、平成十七年の四人と比べ減少しています。しかし、過去五年間の人身事故発生件数は、いずれの年も千件を超えています（下のグラフ参照）。

この結果から、交通死亡事故は減少しているものの、人身事故の発生件数はあまり減っていないという、厳しい状況であることが分かります。また今年に入ってからすでに交通死亡事故が発生しており、これから交通量の多くなる時期に向けて、心配な状況となっています。

西区の交通事故の特徴として、車同士の追突、出会い頭の衝突、自転車と自動車の衝突などが多く発生場所は、交差点が大半を占めています。事故の原因は、わき見や安全不確認などの「うっかり運転」によるものがほとんどです。

・安全確認はしっかりと

西警察署の倉下隆廣交通第一課長は、ドライバーに対して次のように呼び掛けます。「事故を起こした場合、被害に遭った相手への補償は当然ですが、家庭崩壊などにつながることもあり、その責任

はとても重大です。絶対に事故を起こさないという自覚を持って、運転に注意を払ってください」
また車も歩行者も、お互いの行動に注意することができます。「特に交差点での左右の安全確認をしっかりと行ってください」と、倉下課長は話しています。



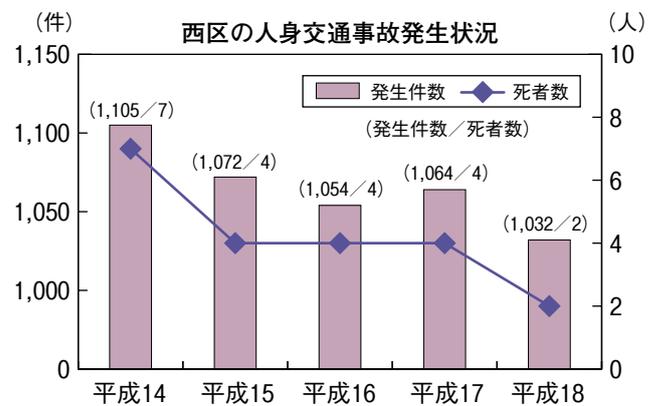
▲倉下交通第一課長

西警察署では、関係機関や地域住民と協力して、交通事故防止に対する意識を高めるための啓発活動を行っています。季節ごとに行われる「交通安全市民総ぐるみ運動」や地域で主催するイベントで、交通安全を呼び掛けています。

これからは、行楽などで外出の機会が多くなる時期になり、それに伴い事故の危険も増加します。
いま一度、交通事故をなくすために、みんなで交通安全について考えていきましょう。

【ドライバーの皆さんへ】

- ① 運転技術を過信していませんか。スピードダウンと、交差点での安全確認に心掛けましょう。
- ② シートベルトをしっかりと締め、心にゆとりを持って運転しましょう。
- ③ 雪解け時期は、走行速度が上昇しがちです。決められた速度を守りましょう。
- ④ 飲酒運転は絶対にやめましょう。



【歩行者・自転車利用者の皆さんへ】

- ① 交差点付近では安全を確認し、車に注意しましょう。特に自転車利用者は、交差点で一時停止をしましょう。
- ② 夜間外出の際には、夜光反射材を身に付けるようにしましょう。

- ③ 歩行者は、道路を横断するとき、遠回りでも横断歩道を渡りましょう。また横断中も、安全確認をしましょう。



広告欄